

横浜みなと博物館がリニューアルオープンします — 報道関係者向けに館内を公開 —

横浜みなと博物館は、文化庁や国土交通省からの補助金を活用し、令和 3 年 6 月から、大型 LED パネルを 5 面（前面、左・右、天井、床）に設置した国内初の常設体験型 VR シアター（「みなとカプセル」）の導入等展示施設の更新、案内サインの多言語化等の拡充、吊り天井の耐震化等を行ってきました。

この度、令和 4 年 6 月 28 日（火）にリニューアルオープンすることとなりましたので、それに先立ち、6 月 27 日（月）午前 10 時から報道関係者を対象に博物館内を公開します。取材いただける場合は、6 月 24 日（金）までに裏面の取材申込書を御提出ください。当日は、すべての展示施設を御確認いただけます。

なお、6 月 28 日（火）10 時には、地元の市立本町小学校の 4 年生（約 90 名）をお招きし、オープニングを飾っていただきますので、その様子も取材いただくことが可能です。

※ 御来館にあたっては、アルコール消毒液による手指消毒や館内におけるマスク着用等、新型コロナウイルス感染防止に御協力をお願いします。



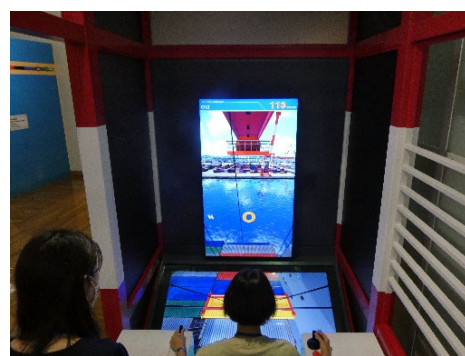
VRシアター「みなとカプセル」



埋立と築港の技術と歴史



映像展示「横浜開港」



ガントリークレーンシミュレーター

【施設名】 横浜みなと博物館

【所在地】 横浜市西区みなとみらい 2-1-1

【施設連絡先】 045-221-0280

【ホームページ】 <https://www.nippon-maru.or.jp/>

お問合せ先

【施設の運営に関すること】	港湾局みなと賑わい振興部賑わい振興課長	古瀬 謙一	Tel 045-671-2874
【リニューアル工事に関すること】	港湾局みなと賑わい振興部整備推進課長	石井 雅樹	Tel 045-671-2885
【指定管理者】	公益財団法人帆船日本丸記念財団	総務課	Tel 045-221-0280

横浜みなと博物館リニューアル取材申込書

FAX 045-651-7996（港湾局賑わい振興課 行）

【令和4年6月24日（金）申込締切】

貴社名（部署名）	
御担当者	
当日の取材人数	人
撮影	☐ スチール（ 台） ☐ ムービー（ 台）
御連絡先	電話 （ ） 携帯電話＜当日の連絡先＞ （ ） メールアドレス
放送・発行予定日	月 日（媒体 ） / 未定
オープン日の撮影希望	☐ 有 / ☐ 無

【留意事項】

- 当日は、横浜みなと博物館「総合受付」までお越しく下さい。
9時30分に受付を開始します（10時までにお越しくだい。）。
- 受付で名刺を頂戴します。また、腕章の着用をお願いします。
- 専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- オープン日に撮影を希望する場合は、有にチェックをお願いします（詳細については、後日御連絡します。）。

横浜みなと博物館

Yokohama Port Museum

平成元(1989)年3月に開港130周年を記念して「横浜マリタイムミュージアム」がオープン。その後、名称を現在の「横浜みなと博物館」とし、「歴史と暮らしのなかの横浜港」をテーマに親しまれてきました。この度、開港の歴史を模型と映像で演出した展示、港をダイナミックに体感できるVRシアターの導入、ガントリークレーンシミュレーターの設置等、体験型コンテンツを充実させリニューアルしました。



吊り天井の耐震化

展示リニューアル作業と並行して、館内常設展示室の吊天井の耐震化を図るため、落下防止ネットを設置し、利用者の安全性を確保しました。



プレゼンテーションルーム

帆船日本丸が目の前に浮かぶ美しいロケーションで、多目的な用途に使っていただける新たなスペースを設置しました。バックヤードも充実しており、アイデア次第で様々な使い方が可能です。

アクセス | 利用料金



開館時間	10:00～17:00				
休館日	月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始、その他臨時休館日あり				

チケット	共通券 (日本丸と博物館)		日本丸		博物館	
	個人	団体※1	個人	団体	個人	団体
一般	800円	700円	400円	350円	500円	450円
65歳以上	600円	500円	250円	200円	400円	350円
小・中・高校生※2	300円	200円	200円	150円	200円	150円

※1 団体割引料金の適用は、小学生以上の方が20名様以上の場合です。
※2 土曜日は、小・中・高校生は共通券が一律100円の特別料金になります。

国指定重要文化財 帆船日本丸・第一号ドック

横浜みなと博物館の目の前にある帆船日本丸は、平成29(2017)年に国指定重要文化財となりました。昭和5(1930)年に、船員養成の目的で建造され、引退するまでの航行距離は延べ183万km、地球を約45周し、11,500人の船員を養成しました。エンジンは稼動期間が54年2か月で船舶用としては世界一長く、ギネスブックに掲載されています。帆船日本丸が保存されている石造りの第一号ドック(旧横浜船渠株式会社第一号船渠)も重要文化財であり、明治31(1898)年に竣工した、船の修繕用のドライドック(乾燥渠)です。昭和57(1982)年までに数千隻の修繕に使われました。



桜木町側に屋外トールサインを新設し、日本丸メモリアルパーク内の案内サイン及び博物館入口をリニューアルしました。加えて、1号ドック周辺とパーク内のブロック舗装を更新したことで、施設の視認性が向上するとともに、来街者の回遊性と利便性を促進させ、更なる賑わいを創出します。



横浜市港湾局賑わい振興課 | TEL : 045-671-2888
公益財団法人 帆船日本丸記念財団 | TEL : 045-221-0280
日本丸メモリアルパーク | ホームページ <https://www.nippon-maru.or.jp/>

横浜みなと博物館リニューアルのみどころ [地下1階展示室]



ガントリークレーン シミュレーター

コンテナターミナルでは、日々たくさんのコンテナが、ガントリークレーン(大型の荷役機械)によって船から積みおろしされています。ガントリークレーンの操作をシミュレーターでリアルに体験。積みおろし時間を計測してランク付けされます。



横浜港操船シミュレーター

横浜港を忠実に再現した映像の中で船を操縦する本格的なシミュレーターです。昼夜・晴天・荒天など様々なシチュエーションを楽しめます。



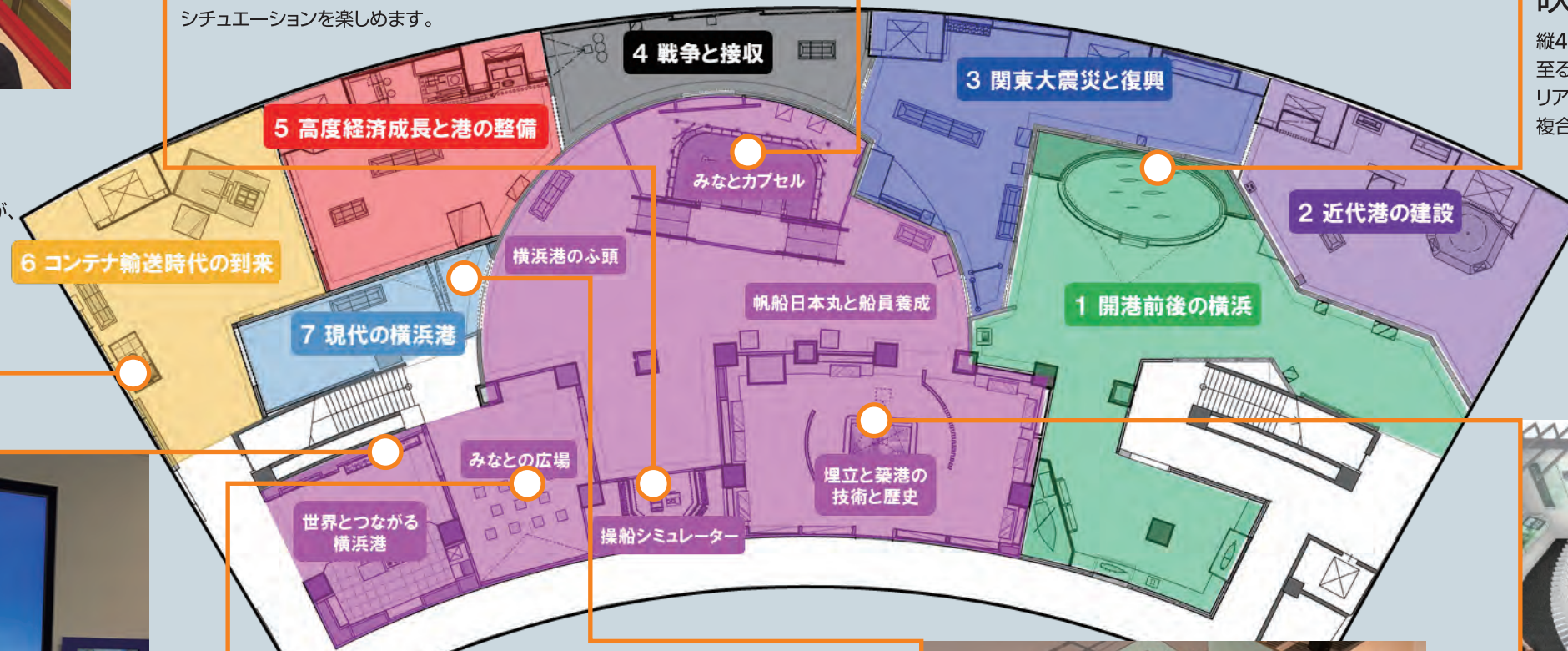
VRシアター「みなとカプセル」

大型LEDパネルを5面(前、左・右、天井、床)で覆われたカプセルの中では、360度の映像とサラウンド・音声によって、あたかもそこにいるような感覚が楽しめます。



映像展示「横浜開港」

縦4m、横8mからなる大型スクリーンで、横浜開港に至るまでの日米間の交渉を迫力ある映像で紹介します。リアルな黒船の模型が波間を漂うような映像の複合的な演出で、皆様を開港当時に誘います。



フотスポット

横浜の姉妹港や姉妹都市などとの取組や魅力を分かりやすく紹介するコーナーと、これら各地の風景や横浜市内の観光地などを背景に記念撮影ができるフオトスポットです。世界の美しい港の景色とともに来館の思い出を一枚の写真に残せます。



みなとの広場

縦2.6m、横4.6mの大画面で、家庭の食卓にならぶ料理が私たちのもとへ届くまでの「港の役割」や脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた「港の環境」、今行われている「横浜港の取組」についてアニメーションを中心に上映しています。



よこはま港のやくわり

壁面いっぱいのタッチウォールでは、横浜港に現れるリングアイコンに手をかざすと、ふ頭で動くコンテナ船やガントリークレーン、ふ頭に集う人々や観覧車、ロープウェイなどが賑やかに動き出します。体を動かしながら楽しめるデジタルコンテンツです。



埋立と築港の技術と歴史

吉田新田など江戸時代の新田開発から、新本牧ふ頭の整備まで、日本で初めて埋立と築港の技術と歴史をテーマにした常設展示です。埋立による横浜港の移り変わりや、埋立により交通網が発展してきた様子などを、最新のプロジェクションマッピングにより視覚的に楽しめます。